外国人にワクチン情報正しく　朝日21・7・16

外国人向けの予防接種の情報不足を受け、京都府保険医協会は、国や府内自治体に、接種券配布時の多言語説明書の添付、多言語対応のホットラインや窓口の設置、SNSを活用した情報発信などを要請した。

【東京都議会　議事録】

令和３年予算特別委員会(第４号)　本文 2021-03-12　：初宿福祉保健局健康危機管理担当局長

四月以降に始まります住民接種に向け、センターの連絡先をホームページ等を通じて広く周知いたしますとともに、回線数をふやすほか、外国人の方からの相談にも適切に対応できるよう、対応言語を十一カ国語に拡充する。

【東京都の取り組み】

Information about COVID-19 Vaccinations　東京都福祉保健局

→外国人向けHPなどで情報発信

【他自治体の取り組み】

<https://www.city.isesaki.lg.jp/soshiki/siminbu/kokusai/kokusai/10149.html>

【外国人(がいこくじん)のみなさまへ】新型(しんがた)コロナウイルスについて

群馬県伊勢崎市では、外国人に向けてワクチンやコロナウイルスについての情報を「やさしい日本語」で発信

・外国人への接種を加速するため、出入国在留管理庁は、10月中旬から、最大で18の言語に対応できる東京・四谷の「外国人在留支援センター」で、予約を一括で受け付け、東京、大阪、名古屋の3つの地域の病院で接種が行えるよう体制を整備することになった。

予約には、自治体が発行する接種券が必要となることから、住民票が登録されておらず、接種券が届かない外国人については、出入国在留管理庁が、住所を通知するなどして、自治体に接種券を発行してもらうよう促すことにしている。